1995年8月10日第三種郵便物許可（毎週1回水曜日発行）2017年6月12日発行 増刊通巻第7085号SSKS 月刊きょうされんTOMO No.447付録

きょうされん第40回全国大会 in 北海道（9月15・16日開催）実行委員会事務局・広報局発行　第7号

つなげよう時計台の街から

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目5-1 社会福祉法人さっぽろひかり福祉会内事務局
TEL:011-743-3009 / FAX:011-731-0211

申し込み締め切りは今週末（7月14日）

航空券等の手配もお忘れなく!!

開会全体会の**司会**には、

FM北海道
(air—G)でお馴染みのフリーアナウンサー、
水本香里さんに、

きょうされんの40周年記念大会にふさわしく花を添えて頂きます。

全道でも注目されています

北海道議会の宮川潤議員は一般質問で、9月に札幌市内で全国から障害者が集う「きょうされん全国大会」の開催を契機に、障害者に優しいまちづくりを求めました。知事は「安全に交通機関等を利用できるよう、働きかけを行っていく」と答弁しました。また当事者の皆さんから要望のあった「障害者やその家族を支える環境整備の充実を求める意見書」が全会一致で可決されました。

きょうされん第40回全国大会in北海道　ボランティア講座（7/8）参加者の感想

◆ボランティアに参加すること自体が初めてのため、参加前にこういった講座を受けることが出来、良かったと思う。私のように初めて参加する方や、不安のある方は多くいると思うので、こういった機会が増え、参加することで理解が少しでも広まるといいのではないかと思いました。（専門学校北海道福祉大学校　竹内慶太）

◆第2の人生を少しでも還元できればと思います。車椅子は障害者・高齢者、いずれにも必要だと思います。参考になりました。（篠原弘）

合理的配慮について講演してくれたのは「すみれ会」の石山さん

◆実際に車椅子で移動している人ともお話をすることができ、何が怖いのか、普通に歩いているだけでは気づけないことも聞かせていただくことができ、とても良い学びになりました。知的・精神障がいがある方への接し方・関わり方・留意点を知ることができたので、実際にお会いし、接する時に意識して（でもあまり意識しすぎないで普通にして）いきたいと思いました。（勤医協札幌看護専門学校　一ノ口結菜）

◆今まで車椅子を押したことはあったが、乗っている人の目線などを気にしたことはなかった。本番では、コミュニケーションを積極的に取りながらお互い楽しめるように行動したい。説明を聞きながら体験もできるとても貴重な機会だった。車椅子を利用することがあればこの講座を思い出して優しく接してあげたい。（北海道科学大学　岡田一馬）

なかまの観光Bコース「てっぱんスィーツと迫力ジャンプ台」紹介

北海道銘菓「白い恋人」の工場見学と1972年の冬季オリンピック競技場の舞台を周る、見どころいっぱいのコースです。

「白い恋人パーク」到着時刻のちょうど10時。からくり時計が鳴り、ヨーロッパ風の素敵な建物に囲まれたローズガーデンでシャボン玉が飛びかう素敵な時間です。

おすすめは、世界に一つだけのオリジナル缶を作れる有料サービス！白い恋人定番の利尻山を背景にした撮影スポットで記念撮影。自分用でも、お土産にしても良しです。30分ほど時間がかかるのでご希望の方は最初にどうぞ！

工場見学は30-40分、製造ラインでチョコをサンドする様子を3階から見られます。途中、きらびやかなカップのコレクションやチョコレートの歴史を見ることができます。ゆっくりしたい方はそのまま4階の喫茶へ！アンティーク家具に囲まれてチョコレートドリンクを飲んではいかがでしょうか。

やっぱりお土産！という方は1階でじっくりショッピング。オリジナル品、限定品も色々。口の中でパチパチはじけるチョコはフレーバーがたくさんで、選ぶのが楽しいです。

すぐ横のキャンディ・ラボでは、飴職人が上手に模様を作っていく様子がガラス越しに見られ、出来たカラフルなキャンディーが売られています。

出発まで時間が余った方は、中庭でホワイトチョコの入ったソフトクリームで一息つくのも素敵です。

次はバスで大倉山へ。1972年、北海道で冬のオリンピックがあったことはご存知でしょうか。大倉山はその時のスキージャンプの会場です。

見上げるジャンプ台は圧巻。反対を見れば、札幌の街を見わたせます。

スポーツの歴史や記録映像がいっぱいの記念館。リュージュやスキージャンプ、スピードスケートのトレーニングの体験スポットも楽しめます。

なかまの観光企画担当責任者　満月彩野（光ファクトリー）